

平成26年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名：唐津市農地林務課)

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>森林基盤整備交付金事業（道整備交付金）（林道事業） （向野線）</p>
<p>継続理由</p>	<p>当路線は唐津市相知町平山地区に位置する林道である。 当路線の周辺森林は、林内路網が未整備であったため、森林施業における現場までの到達や機材の搬入などが困難であり、森林の整備が遅れるとともに木材の搬出等もできない状況であった。 このため、地元関係地区からの要望を受け、平成17年度から森林整備を進め、森林の持つ多面的機能の高度発揮等を目指して当林道の整備に取り組んできた。 事業の進捗は、平成25年度末で36.7%となっており、事業効果を発揮するためには未完了区間の早期完成が必要であり、平成32年度の完成に向け事業の継続が適当である。</p>
<p>B/Cの 算出方法</p>	<p>効果については、木材生産・森林整備促進便益、水源涵養便益等、災害等軽減便益等の定量化が可能なものについて算定し評価する。 評価対象期間は、事業期間+40年間（耐用年数）とする。 「便益」 ・木材生産・森林整備促進便益 = 86,663千円 ・水源涵養便益等 = 670,233千円 ・災害等軽減便益等 = 158,058千円 合 計 = 914,954千円 「費用」 ・事業費 = 498,572千円 ・維持管理費 = 3,747千円 合 計 = 502,319千円 費用対効果 B/C = 914,954 / 502,319 = 1.82</p>
<p>備 考</p>	

平成 26 年度再評価対象事業 (事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
17	森林基盤整備交付金事業 (道整備交付金) (林道事業) (向野線)	唐津市相知町平山地区内の山林に本路線を整備することにより、周辺森林の施業の効率化を図り、森林整備を推進し、森林の持つ多面的機能を高度に発揮させるとともに、地域住民の利便性を向上をさせ、地域の再生を図ることを目的とする。	全体事業費：C=8.0億円 計画延長：L=5,000m 幅員(車道)：W=4.0m (3.0m) 工期：H17～H32 (起点) 唐津市相知町平山下 (終点) 唐津市相知町平山上	H25末までの開設延長 L=1,839m (H25末進捗率36.7%) (年平均進捗率4.1%)	・利用区域内での大規模な開発による森林面積の変化はない。 ・当該林道の近隣で新たな道路の開設等はない。	事業採択時と比較し、費用対効果の要因の大きな変化はない。 (H26.8月末B/C) B/C=1.82	(コスト削減) ・コンクリート2次製品(L型側溝)の活用	事業採択後、10年が経過	継続	